

平成 28 年度 第 1 回三条市総合教育会議 会議録

1 日 時	平成 28 年 12 月 1 日（木）午前 10 時～10 時 50 分
2 場 所	三条市役所栄庁舎 201 会議室
3 出席者	構成員 國定市長、長沼委員長、坂爪委員長職務代理委員、渡辺委員、 (6 人) 小林委員、長谷川教育長
	事務局 久住教育部長、駒形教育総務課長、栗林子育て支援課長、 (7 人) 高橋小中一貫教育推進課長、吉川教育センター長、 渋谷教育総務課長補佐、大谷教育総務課庶務係長
4 傍聴人	5 人
5 議 題	(1) 平成 29 年度当初予算に関する要望について
6 会議内容	
國定市長	<p>1 開会</p> <p>それでは定刻となりましたので、これより第 1 回三条市総合教育会議を開催させていただきます。本日は、大変御多用中にもかかわらず御出席を賜りまして誠にありがとうございます。本日は、平成 29 年度の当初予算につきまして、教育委員の皆様方から御要望をお伺いし、意見交換をさせていただく場にしていきたいと思っておりますので、よろしく願い申し上げます。</p>
國定市長	<p>2 議題</p> <p>それでは今ほど申し上げました議題、平成 29 年度当初予算に関する要望につきまして、教育委員の皆様方から御要望をお伺いし、私で答えられる範囲の若干のコメントをそれぞれしていきたいと思っておりますので、よろしく願いしたいと思います。</p>
長沼委員長	<p>まずは、長沼委員長さんからお願いしたいと思います。</p> <p>コミュニティ・スクールについてですが、学校訪問などで話を伺うと、年々学校の役割の守備範囲が広くなり、教職員の負担が増えているとお聞きしています。また、地域のお年寄りの中には、子どもたちのために趣味や特技を活かし、学校を支援していきたいと考えている方も多くいらっしゃいます。これらをうまく結び付け、学校と地域が目標を共有し、地域の子どもは地域で育てる。地域とともにある学校づくりを推進していくために、コミュニティ・スクールという仕組みを整えていく必要があると考えております。学校運営協議会で、学校、家庭、地域の思いや夢をじっくりと話し合い、協働して取組を進めることで、学校の負担軽減やお年寄りを始め地域を元気にすることにつながっていきます。</p> <p>まずは、大島中学校区、栄中学校区の 7 校のモデルを指定し、成果と課題を検証していきたいと考えております。モデル校の学校運営協議会委員及び学校運営協議会の事務を担当する CS ディレクターなどの報酬に関わる予算について、御配慮くださいますようお願いいたします。</p> <p>先日、コミュニティ・スクールは、校長先生にとって有効なツールになる</p>

長沼委員長	<p>というお話を聞きました。災害のときは、地域の方々の方が地域に詳しいので、学校の部屋を運営委員会に開放し、災害対応に協力していただくことができます。これは、校長先生が変わったときにもとても役に立つ、そういう役割も果たせるようになっておっしゃっていましたので、私はその点もとてもいいことだと思っております。いかがでしょうか。</p>
國定市長	<p>コミュニティ・スクールについては、ちょっと形は違うんですけども、見附市が相当早い段階から取り組んでおられて、実際に地域とのつながりができ、地域の皆様方の一体化、あるいは、地域コミュニティキャピタルの造成にもつながっているということを経験盛んに久住市長が言われていました。確か久住市長は、文科省のコミュニティ・スクールを作り上げるときの研究会の委員を務められていたと思います。今、委員長さんがおっしゃられたようにかなりの数のコミュニティ・スクールが展開されていると伺っています。</p> <p>CSディレクターの存在が、ある意味コミュニティ・スクールの鍵にもなっていると思います。大島と栄の二つからモデル校でやっていくというお話ですので、まずは挑戦することとして、挑戦することが大事ですから、そこからやっていきたいと思っています。逆に皆様方からは是非お知恵を頂戴したいと思います。</p> <p>多分、学校現場からある意味その機能を切り離すのが目的でもあるので、そうすると幾ら学校の先生方が頑張ってもうまくいくわけでもないですし、学校の先生方に頑張れと言う教育委員会事務局であっても多分うまくいかなくと思いますので、もう少し別な立ち位置として教育委員さん自ら褒めていただくなり、関心を持っていただくことがすごく大事になると思いますので、是非よろしくお願ひしたいと思います。</p>
坂爪委員	<p>今年も10月、11月に小学校と中学校の授業を数か校見させていただきました。大変個性豊かな児童生徒がいて、一人で四苦八苦している担当教員がいました。</p> <p>そこで、私からは、特別支援教育指導員の増員のお願いでございます。今年度、特別支援教育指導員を増員していただき、子どもの特性に応じたきめ細やかな指導と支援ができるようになり、大変ありがたいという声を聞いております。しかしながら、通常学級において、個に応じた支援をしながら、クラス全体の教育活動を充実していくためには、指導員の必要なクラスがありますので、来年度も指導員の増員を確実にお願いしたいと思ひます。</p>
國定市長	<p>かねてからこの拡充についてのお話をいただいて、今年度からチャレンジしたわけですが、要するに人員の確保ということになるので、どうしてもお金と相談していかないとけないわけです。ただ、今ほど言われたように、今の状態が必ずしも満足できる人員体制だとは余り思っていないので、一人一人の特別支援教育指導員の待遇を少し見直し、結果として、限ら</p>

<p>國定市長</p>	<p>れた財源の中で人員を確保するというところに来年度は体制を切替えて、事実上、今、坂爪さんがおっしゃられたような教室があったとしても、一人ではなく、実際に二人で見ることができるような体制をつくっていくことができればなということで、まだ最終的に予算確定していませんけれども、今、そんな相談を財務課とさせていただいています。</p> <p>いずれにしても、特別支援教育指導員の数そのものをまず増やしていくということはすごく大事ですので、むしろそこに軸足を置いてやっていく形で取り組んでいきたいと思います。来年も学校訪問された折に、どれぐらいの水準がいいのかというところを是非見ていただきたいと思っています。</p>
<p>渡辺委員</p>	<p>スクールアシスタントの充実について御要望をお願いいたします。学校の教育活動を支援するスクールアシスタントの配置は、学校の教育環境の整備、教職員の事務補助に多いに役立っており、子どもたちと向き合う時間の確保ができるようになったと教員から聞いております。学校も業務の改善を図りながら、子どもたちと向き合う時間の確保に努めているところでありますが、教職員の事務補助として、スクールアシスタントの日数の充実をお願いしたいと思います。</p>
<p>國定市長</p>	<p>三条に赴任、転入されてくる先生方や校長先生方が、三条に来て良かったと思っていることの一つに、スクールアシスタントの存在があるということ随分前から私自身も聞いています。</p> <p>だからこそ、余計にスクールアシスタントに掛ける期待感とか、お願いしたい領域というものが、どんどん増えてきていると思っています。その結果として、スクールアシスタントの負担増加、多忙化につながっていると思っています。1年の間で忙しい時期とそうでない時期の波が結構ありますので、特に多忙な時期は、スクールアシスタントの数を今よりも増やすということで対応していきたいと思っています。</p> <p>スクールアシスタントを増やした後、スクールアシスタントがどう思われているのか、あるいは、増えた所の学校現場がどうなっているのかについては、逆に委員の皆様方からヒアリングなりで感じ取っていただければと思いますし、それは来年度だけで終わりということではありませんから、再来年度以降にもつなげていきたいと思っています。</p>
<p>小林委員</p>	<p>大崎小学校の改修についてですが、先日、教育委員の学校訪問で何校か伺った中で、大崎小学校の老朽化がすごいと思いました。再来年に大崎中学校が新しくなって、県内初の義務教育学校になるわけですが、余りにもギャップがすごいと思いました。聞けば40年以上も経っているということですので、もし可能であれば違和感がない程度にさせていただきたいと思っています。そういったことも一体感の醸成につながるとしますので、予算の問題等々あるかもしれませんが、彼らのためにも是非、大幅な改修をお願いしたいと思</p>

小林委員 國定市長	<p>います。</p> <p>大幅な改修と言われると、まあ、特に新しい中学校が隣を見るとギャップの激しさに戸惑う子どもたちが。</p>
小林委員 國定市長	<p>一步入るとすごいですからね。</p> <p>そうですね。全くそのままでは考えていませんけれども、お金と相談させていきたいと思っています。</p>
小林委員 國定市長	<p>留意いただいて。</p> <p>小言を言っていていいですか。文科省が悪いんじゃないじゃなくて財務省が悪いんです。補助単価制度をとっているのは、今はもう文科省と厚労省ぐらいでしょう。例えば国交省が今一番分かりやすい例ですけれども、通常の補助金制度というのは、例えば補助率2分の1の場合、10億の建物をつくと5億出ると普通は思うじゃないですか。それが大体スタンダードになってきているんですけども、実は昔はそうではなくて、実際10億掛かるのに、それは10億掛からないはずだと国が勝手に決めるんですよ。要するにこの部材は幾らですとか、ここの面積だと平米単価幾らですというのを勝手に決めてしまっ、それを積算した金額に2分の1を掛けるというのが、昭和の時代からずっと続いていて、それはおかしいじゃないかということも地方公共団体がずっと言い続けて、ひっくり返り続けて、国交省を始めとするあらかたの補助行政というのは、実額ベースに対する補助率になっているんです。</p> <p>ただ、私の知る限り厚労省と文科省だけは、昭和の時代をずっと引きずっていて、多分それは、文科省、厚労省がというよりも、文科省と厚労省は、箱ものとしては非常に莫大な金額なので、財務省がキャップを掛けるわけですよ。だから文科省が悪いわけじゃないと思っているんですけども、そうすると、例えば実際10億掛かっているにもかかわらず、国に申請するときの建設コストというのは、今の実際の状態でいうと6億位だっていうふうな感じなんですよ。ちょっと低いかな、6割位かな、10億実際掛かっているのも6億ですとなるわけです。そうすると掛ける2分の1ですから3億。10億の半分だから普通は5億が相場だと考えるところが、現実的には3億しか付かない。</p> <p>しかも、これとて必ずしも文科省を含めてどこの省庁もそうですけれども、それは担当課の裁量の範疇になっています。全国的に要望が多い、要するに予算をオーバーする位の要望が来ると、考えられるのは二つしかないんですよ。一つは、優先順位を決めて全く付けない。限られた予算に収まったところまで絞り込んだ上で、ここにはその計算どおり付けますというパターンと、後はパイが大きいから、補助要綱上は2分の1になっていますけれども、みんなに薄く広く分配していかなければいけないので、現実的には3分の1にしてくださいとか、そういうのが結構、往々にしてあります。それは</p>

<p>國定市長</p>	<p>もう別に驚くほどのことでもなく日常茶飯事の出来事として行われています。</p> <p>そのダブルパンチが来ると、文科省の補助金の場合は結構きつい。国交省は大変ありがたいことに、大変目を掛けていただいているので、あんまり露骨には言いませんけれども、相当良い内示率です。国交省とてほかの市町村の場合の内示率はものすごく低くて、分野によると3分の1位しか付かないところがあるわけです。社会資本整備総合交付金の交付率は、大体40%です。40%の内示率の3分の1、事実上13%位しか補助が付かない。でも、これは結構とおり相場なんですね。うちはありがたいことに、全くそういうことではないんですが、自分たちもこれから先の財政運営のことを考えると、教育施設については、実はあんまりその国の補助金を安心して見積もることができないというのが実態です。という愚痴をこぼしつつ、しっかりとやっていきたいと思います。</p>
<p>小林委員 國定市長</p>	<p>気持ちが吹き出しましたね。</p> <p>文科省が悪いわけじゃないですよ。文科省も、いつも財務省にそれはおかしいでしょと、世の中みんな要望しているのに応えられないのは財務省のせいですと言っているんですが、財務省からは、いつものごとく切り札として、じゃあ、教員削減しますかと言って、この12月の攻防劇が始まります。今年も、財務省が定員削減を言ってきました。彼らの切り口は非常に単純で、子どもが少なくなっているんで、それだけ教員も要らないじゃないですかと言ってきているわけです。</p> <p>でも、現実には、ただでさえ教員が足りないという状態で、しかもニーズが多様化している。本心を言うともっと増やしてほしいという状況であるにもかかわらず、財務省目線で見ると、今はもう十分間に合っているでしょうと。しかも、これから少子化が進んでいくから、もう教員なんて要らないじゃないですかと言って、必ず11月頃に財務省は言い始めるんですよ。文科省は、教員数確保の防御に迫られるので、施設整備の拡充の話に結局たどり着かないのが現状です。クリスマスで予算編成が決まりますので、クリスマスを迎えると、それがもう毎年の恒例行事なんです。</p> <p>そうするとどうなるかという、今の文科省の現実には補正予算待ちなんです。補正予算がないと、もう満足いく施設整備が全然できない。今はもう全国的に補正も追い付かなくなってきたんですよ。二、三年前までは補正をやると大体要望にほぼ追い付く位だったんですけど、今は補正を見込んででも要望に追いつかない状況になっているんです。愚痴でした。</p>
<p>渡辺委員</p>	<p>私も、これまで多くの学校を参観してきましたが、大崎小学校のほかにも建築40年を超える学校があります。計画的な施設の改修を是非お願いしたいと思います。</p>

<p>國定市長</p>	<p>はい。今ほど申し上げたとおりでなんです。僕らも、決してけちろう、値切ろう、その結果として改修するのを止めようと思っているわけではなくて、御案内のとおり毎年手掛けています。比較的大所という、今年が7校位だったかな、グラウンドや暖房改修をやっています。これも文科省から御配慮いただかなければならなくて、今回お陰様で補正予算で何とか滑り込みセーフすることができましたので、当初予算どおり執行することができますが、そういう不安定な状況の中で続けているということのを是非御理解いただきたいと思います。</p>
<p>坂爪委員</p>	<p>先ほどの市長さんの話じゃありませんけれども、子どもの数は少なくなってきていますが、光とか、熱とか、水というのは、削るわけにいかないんです。是非、現状維持の配当予算をお願いしたいと思います。</p>
<p>國定市長</p>	<p>先ほど財務省の悪口を散々言いながら、ここで財務省的なことを言うんですけれども、シーリングを掛けているのが実態で、昨年度のシーリングは横ばいだったんですけれども、今年の財政状況を考えると少し各部局に頑張ってもらいたいということで、今のところ経常経費については、各部に等しく2%何とか努力して削減幅を出してもらえないだろうかということをお願いしているところです。恐らくそこは教育委員会がしっかりと頭を使って、学校施設については、現状維持しながら教育委員会事務局全体として2%の実現を図って財務課に提出しているはずですので、彼らを信じてあげてください。</p>
<p>坂爪委員</p>	<p>分かりました。</p>
<p>小林委員</p>	<p>三条市の特色を生かしたキャリア教育についてですが、伝統産業や技術を継承する学習として、刃物・ものづくり教育の講師を務めていただいている建築組合の方々には、大変お忙しい中、子どもたちや三条市のためということで協力をいただいております。彼らには、僅かな謝礼でお引き受けいただいていると聞いておりますので、多少なりとも上乘せしてあげることが、こういった教育が重要だということを考えているというメッセージにもなると思いますので、そういった方向付けを是非お願いしたいと思っております。</p>
<p>國定市長</p>	<p>本当に今、ほぼボランティアでやっていただいておりますので、それこそささやかな、僅かかもしれませんが、頑張ってもらっているの方々に対する敬意を込めて、今ほど言われたように些少かもしれませんが、少し謝礼を上乘せしていく必要があると思っております。</p> <p>それ以外にも、鍛冶道場でのものづくり教育であったり、あるいは、教育課程そのものからはそれですけれども、夏にあるキッズニアであったり、そういうのは引き続き大事なキャリア教育だと僕は思っていますので、今の話と同じく充実強化を図っていく必要があると思っております。</p>

長沼委員長	<p>眠育についてですが、先日、眠育講演会に参加しまして、私どもが、何となく不登校というのは生活習慣病といってもいいんじゃないかしらと思っていたことが、脳と体が眠育をしないとだめになるということが分かりました。本当は不気味に増えていくような不安感があったんですけども、それは、小さいうちにやれば、小さいうちじゃなければできないということがよく分かりました。是非ともこれは続けて、学校現場だけじゃなくて大事な家庭、それから中学生になるとなかなか直すのが難しいとおっしゃいますので、その前にちゃんとした体をつくって社会に出る準備をするように、是非続けていただきたいと思います。</p>
國定市長	<p>僕も、眠育の講演会を聞く機会をいただきました。話の中身そのものは非常に真面目だし、当たり前ですけども、言っていることはすごく合理的ですよ。体が悪いのではなくて、体のサイクルを今の長年ずっと築き上げられてきた社会のサイクルに合わせていくことができるのは、要はその就学前、もっと言うと、保育所や幼稚園に入る前が一番大事で、遅くとも就学前には、社会のライフサイクルに体のライフサイクルを合わせていかないといけないんだと、まあ、言われてみればそうですねという話ですよ。</p> <p>8時半には学校が始まるわけですから、うちの娘は必ず7時35分に登校班の所に集合しなければいけないので、7時半には家を必ず出なければいけないわけじゃないですか。そこにもっていくにはどうしたらいいのかというと、今、委員長さんがおっしゃられたように、御家族で頑張っていたかないと、こればかりはどうにもならないですよ。</p> <p>なので、この前の眠育の講演会はあくまでキックオフです。ただ、これはスマートウェルネスもそうですけれども、難しいのは眠育講演会に来てくださる家族の皆さんは、関心が高くやっつけていただいているわけで、健康面でいうと、てこでも動かない7割層がいるわけですよ。恐らくそれはどの分野でもいるわけで、そこへのアプローチはすごく難しいと思いながら聞いていました。</p> <p>眠育という手法では、僕は絶対失敗すると思っています。結果として、眠育でしたという取組にしていけないといけない。健康の講演会に来る人や健康運動教室に参加する人は、ただでさえ健康ですから、基本的には税金使って、ただでさえ健康な人をより健康にさせているだけなんですよ。それは、医療費総額とかには実は全く影響がなくて、てこでも動かない層に刺激を与えないとその健康施策というのは、実は全く意味がないんです。厚生労働省を始めとする我が国の健康施策というのは、基本的には狭義の健康施策ですから、その結果として健康を意識している人たちにしか届かない。スマートウェルネスは全然違うことをやっているわけですよ。その生涯学習こそが、生涯学習とも言わないですけども、何か街中に楽しみ事を生み出せば、結</p>

<p>國定市長</p>	<p>果として外に出てくるでしょうということです。その積み重ねが結果として、歩く行為につながるんだから健康になりますということでやっているんです。何か同じようなことを眠育もやらないと相当しんどいと思います。ただ、一つあるのは、母子保健制度とかがあるので、そういう機会を捉えて言っていくというのは救いですね。いずれにしても頑張っていきたいと思います。</p>
<p>渡辺委員</p>	<p>幼児教育における運動遊びの推進についてお願いいたします。昨年度末に策定した第2次三条市幼児教育推進プランの中で、小学校1年生の体力テストの結果、多くの種目で平均点を下回っていたことは、幼児の運動遊びを推進していく契機になったと思いますが、簡単にこの体力テストの結果が改善するとは思えませんので、引き続き運動遊びを着実に進めていってほしいと考えております。</p>
<p>國定市長</p>	<p>これはもうおっしゃるとおりです。一朝一夕で、昨日から筋トレ始めれば筋肉が付くわけではありませんし、昨日からダイエットを始めれば10キロ痩せるわけでもありませんので、しっかり取り組んでいきたいと思っています。幼児教育の段階からやることはすごく大事ですので、これは引き続きやっていきたいと思っています。</p>
<p>坂爪委員</p>	<p>そのほか、皆様方から何かありましたら。 私がこれから発言することに対しまして、市長さんからお答えいただかなくても結構ですというふうに思っております、将来的には是非形になることを願っております。 三条市には、専用のサッカーコートがありません。経費が大分掛かりますが、できれば水はけの良い人工芝のグラウンドがあったらいいと思っておりますので、よろしくをお願いします。</p>
<p>國定市長</p>	<p>あれ、そこで終わっちゃうんですか。実体験の方を言ってもらった方が答えやすいんですが。</p>
<p>坂爪委員</p>	<p>そうですね。今、月岡に2面、天然芝のグラウンドがあるんですが、これに経費が大分掛かるだろうと、側溝を付けなければ水はけが悪い。それから、駐車場もあそこは雪捨て場になっていて、下地が砂利になっているので、なかなか施設整備とか全体を見ると、これも大分経費が掛かるんじゃないかと思っております。あそこをもしやるのであれば、2面とも人工芝をお願いしたいと思っております。 この辺を見ると、長岡市、刈羽村、新潟市もほとんど小学生、中学生、高校生が人工芝のグラウンドで大会をやっているんですね。雨が降ると天然芝はもうどうにもならないということが実態ですので、できれば、何億掛かるか分かりませんが、人工芝でお願いしたいと思っております。</p>
<p>國定市長</p>	<p>結局、最後はお金との相談なんですね。旧南小がものづくり学校に変わる</p>

<p>國定市長</p>	<p>段階で、うるおい広場に病児病後児施設をつくるということもあったので、そうは言ってもグラウンドを改修して、サッカーで使えるようにということで南小の跡地のところを改修しました。正直なところ、当時は各方面から御要望をいただいていたので、人工芝でいこうか実際検討しました。当時のうる覚えで恐縮ですけども、全部で3億、当時ですよ。最近、随分その人工芝が普及してきているので、値段は下がってきていると聞いていますが、1面で3億と聞いたときに、もう検討の余地なし、これはだめだなというので、今の旧南小も天然芝なんですけれど、ああいう状況になっています。今も下がり続けているんですよ。</p>
<p>坂爪委員</p>	<p>そうですね。下地ができていれば5千万位でできますね。ただ、下地をしっかりとつくって水はけを良くして砂を張ると1億近くになるだろうと思います。</p>
<p>國定市長 坂爪委員 國定市長 坂爪委員 國定市長</p>	<p>あと二声位ですかね。 将来的に形になるようにお願いしたいです。 余談ですけども、テニスコート1面は幾ら位だと思いますか。 多分、5千万位いくでしょう。 鋭いです。そこまではいきませんが2千万位です。でも、テニスコート1面ですよ。</p>
<p>長沼委員長 國定市長 坂爪委員</p>	<p>屋根もないのに。 屋根もないのに何で高いんですかね。 結局は平らにして水はけを良くするところが最高の条件でしょうね。張るのはみんな同じですからね。</p>
<p>國定市長</p>	<p>全天候型のテニスコートを何となく考えると、表面だけやればいいんじゃないかと思うんですけど、1m以上掘るんですよ。要は今言われたように水はけが一番大事で、暗渠をしっかりと、下に砂利を30cmか40cmの層を入れて、ほかにもいろいろ入れて、結構、重層的な感じになって、僕たちの目に見えるものになる。だからあつという間に何千万も掛かる。テニスコートは、最高でもダブルスで4人しかプレイしないわけじゃないですか。それを考えるとすごく贅沢なスポーツだと思います。サッカーはまだいいですよ。</p>
<p>坂爪委員</p>	<p>野球のようにスタンドやナイター付きの、ああいうプロが来てもいいものもありますのでね、是非、比較するのもありますけど。</p>
<p>國定市長</p>	<p>確かに夢は膨らみますね。分かりました。 そのほか皆様方から何かありますでしょうか。</p>
<p>長谷川教育長</p>	<p>事務局を預かりながら予算執行させていただく立場で、改めてお願い申し上げたいと思います。このような形で委員の皆さんからの思いをお聴きいただく機会をつくっていただいたことに、まず感謝を申し上げたいと思いま</p>

長谷川教育長	<p>す。昨年もこういった形でいろいろな要望をさせていただきました。坂爪委員からの発言もございましたけれども、特別支援教育に関わるマンパワー、こういうところも配置をいただいて大きな成果を上げていると思っております。今日は、委員の皆さんから日頃の思いや三条市の教育施策を展開するに当たっての思いをそれぞれ御披瀝いただいたところでございます。是非、三条の子どもたちのために教育委員会が提出した平成 29 年度予算を御理解いただいて、健やかな子どもたちが育つ、そんな教育環境を整えられるようお願い申し上げたいと思います。平成 29 年度予算がこうなりましたということで、委員の皆さんにしっかりと御報告できるよう、御理解をいただければありがたいと思っておりますので、是非、私どもの思いをお汲み取りいただいて御配慮いただければありがたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。</p>
國定市長	<p>物腰の柔らかさとは裏腹に相当きつい言葉でしたが、しっかり受け止めさせていただきたいと思えます。皆様方からやはり教育の現場をよく熟知されているお立場で、様々な御意見を聴かせていただきまして誠にありがとうございました。</p> <p>実質的には、もう全て始まっていますけれども、予算編成作業そのものは年明け直後から最終コーナーが始まりますので、皆様方の思いをしっかりと受け止めて、予算編成に努めてまいりたいと思っております。</p>
國定市長	<p>3 閉会</p> <p>それでは、これをもちまして本日の総合教育会議を閉会とさせていただきます。今のところ本年度の総合教育会議は今回で終了となりますが、必要に応じて随時開催させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願い申します。本日は大変ありがとうございました。</p>